

10月のGlobal Sessionのお知らせ

期日:2026年10月25日(日)10:30~12:00

場所:ガレリア3階 会議室

ゲスト:西永篤史さん(エスペラント研究者・亀岡市在住)

タイトル:エスペラントについて

英語ではない国際語:実際に使われている人工語

コーディネーター:亀田博さん(ツアーガイド:大津市在住)

参加費:600円(高校生以下無料)

人数:10~15名 小人数でセッションあり

申し込み:児嶋きよみ 0771-23-6579

概要について

「世界には数千の言語があり、それぞれが独自の文化や価値観を育んできました。一方で、異なる言語を話す人どうしが対等に理解し合うことは、今も容易ではありません。

今の時代は、英語が国際語補助言語の役割を果たしていると考えられますが、言語学的、社会的、政治的な観点からいくつかの問題があります。

エスペラントは、文化と言語の多様性を守りながら世界をつなぐ言語として計画的に作られています。発表されたのは今から139年前で、今は世界中には約百万人の使用者がいます。特定の国や民族のものではなく、誰にとっても「外国語」として容易に学べるよう設計されています。

文化や母語を置き換える言語ではありません。それぞれの国の歴史・暮らし・価値観など文化・考え方・表現を持ち込んで使われています。文学や歌には、母語的発想や文化背景が反映されます。共通語でありながら、内容は多文化的なのです。文法は規則的で、短期間で習得しやすく、対等な立場で世界中の人と直接コミュニケーションが可能です。

エスペラントの歴史や言語としての特徴、使われている実態などについてお話しさせていただきます。

西永 篤史 (にしながあつし)

<https://www.ne.jp/asahi/acero/esperanto/>